

「船員の日」感謝の会 金子恭之国土交通大臣から感謝の言葉

6 月 25 日は国連・国際海事機関（IMO）が定めた「船員の日」

6 月 25 日 15 時 10 分から、中央合同庁舎 3 号館の国土交通省大臣応接室で「船員の日」感謝の会が開催された。金子恭之国土交通大臣が 6 人の船員代表者を招待し、感謝の言葉を述べて花束を贈呈した後、ミス日本「海の日」の野口絵子さんと記念撮影が行われた。国土交通省によるこの催しは初めての開催で、本組合からは松浦満晴組合長と立川博行中央執行委員が出席した。6 月 25 日の「船員の日」は、2010 年に国連の専門機関である国際海事機関（IMO）が、世界中で海上輸送を支えている船員に対し深い感謝と敬意を示す日として定めたもの。「船員の日」を迎えるにあたり、金子恭之国土交通大臣から、船員の皆さまの日々の献身と努力に対し、感謝の意をお伝えする趣旨で開催された。

---

金子恭之国土交通大臣の感謝の言葉

四面を海に囲まれたわが国において、食糧やエネルギーなどの物資は国際海運により支えられており、それらの輸送を担う船員は大変重要な存在であります。また、国内においても海上輸送は、人流・物流の両面にわたって重要な役割を果たしており、船員の皆さまにそれを支えていただいております。わが国の経済活動、国民生活に必要な海上輸送に携わる全ての船員の皆さまに心より感謝申し上げます。

特に中東情勢について事案の発生から 4 カ月近くが経過しておりますが、多くの国民の皆さまにおかれましては、これまで当たり前と思っていた船による輸送がひとたび滞れば、社会機能を停滞させかねない、極めて重要で貴重な基盤であることを、今まさに再認識いただいているものではないかと思えます。ペルシャ湾内に留め置かれて、今この時にも高い緊張感のもとで任に当たっている船員の皆さま、また、これまで任に当たってこられた船員の皆さまに、心からの感謝を申し上げます。国土交通省としても、海上輸送の安全確保、職場環境の改善などの取り組みを、さらに進めてまいります。船員の皆さまのますますのご活躍を期待申し上げます。

最後に改めて、本日 6 月 25 日は「船員の日」であります。船員の皆さま、国民生活を支えていただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

---

「海員だより」